FUJITSU

はじめにお読みください

このたびは、弊社の内蔵データカートリッジドライブユニット(以降、本製品)をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本製品の取扱説明書をご覧になる場合は、下記に示します内容を合わせてお読みくださるようお願いいたします。

富士通株式会社
2019 年 04 月

1 添付品がそろっていることを確認してください。

PY-RD111 の添付品

- ☐ 内蔵データカートリッジドライブユニット
- ☐ 保証書
- ☐ USB3.0 ケーブル　［一式］*1
- ☐ DC 電源ケーブル(電源アダプタケーブル)　［一式］*1
- ☐ 富士通バックアップデバイスの情報／Relevant Information for Fujitsu Backup Devices
- ☐ オプション製品に関するユーザ情報

PYBRD111 の添付品

- ☐ 内蔵データカートリッジドライブユニット　*2
- ☐ 保証書　*3
- ☐ USB ケーブル　*2, *4, *5, *6
- ☐ DC 電源ケーブル(電源アダプタケーブル)　*2
- ☐ 富士通バックアップデバイスの情報／Relevant Information for Fujitsu Backup Devices

PY-RD112 の添付品

- ☐ 内蔵データカートリッジドライブユニット
- ☐ 保証書
- ☐ USB3.0 ケーブル　*1
- ☐ ネジ　［4 本］
- ☐ 富士通バックアップデバイスの情報／Relevant Information for Fujitsu Backup Devices
- ☐ オプション製品に関するユーザ情報

PYBRD112 の添付品

- ☐ 内蔵データカートリッジドライブユニット　*2
- ☐ 保証書　*3
- ☐ USB ケーブル　*2, *4, *5, *6
- ☐ ネジ　［4 本］　*2
- ☐ 富士通バックアップデバイスの情報／Relevant Information for Fujitsu Backup Devices

PY-RD113 の添付品

- ☐ 内蔵データカートリッジドライブユニット
- ☐ 保証書
- ☐ USB3.0 ケーブル　*1
- ☐ DC 電源ケーブル(電源アダプタケーブル)　*1
- ☐ 富士通バックアップデバイスの情報／Relevant Information for Fujitsu Backup Devices
- ☐ オプション製品に関するユーザ情報

PYBRD113 の添付品

- ☐ 内蔵データカートリッジドライブユニット　*2
- ☐ 保証書　*3
- ☐ USB ケーブル　*2, *4, *5, *6
- ☐ DC 電源ケーブル(電源アダプタケーブル)　*2
- ☐ 富士通バックアップデバイスの情報／Relevant Information for Fujitsu Backup Devices

Copyright 2016-2019　FUJITSU LIMITED

FUJITSU

*1：一般型名（PY-RD111, PY-RD112,PY-RD113）には、本製品と搭載可能なサーバ本体を接続するための
ケーブル一式が添付されています。ご使用のサーバのマニュアルを参照し、適切なケーブルをご使用ください。
*2：カスタムメイド型名（PYBRD111, PYBRD112, PYBRD113）の場合は、サーバ本体に組み込まれています。
*3：カスタムメイド型名（PYBRD111, PYBRD112,PYBRD113）の場合は、サーバ本体の保証書に含まれます。
*4：オンボード USB3.0 接続に対応していないサーバ本体と一緒にカスタムメイド型名の本製品（PYBRD111,
PYBRD112,PYBRD113）のみお買い上げいただいた場合、USB2.0 ケーブルがサーバ本体に組み込まれています。
*5：オンボード USB3.0 接続に対応していないサーバ本体と一緒にカスタムメイド型名の本製品（PYBRD111,
PYBRD112,PYBRD113）とカスタムメイド型名の増設用 USB3.0 ポート（PYBUSP01, PYBUSP01L）をお買い
上げいただいた場合、USB3.0 ケーブルがサーバ本体に組み込まれています。
*6：オンボード USB3.0 接続に対応しているサーバ本体と一緒にカスタムメイド型名の本製品（PYBRD111,
PYBRD112,PYBRD113）のみお買い上げいただいた場合、USB3.0 ケーブルがサーバ本体に組み込まれています。

2 本装置の搭載・接続について

・本製品をサーバに搭載する際は、サーバ本体の『アップグレード＆メンテナンスマニュアル』または
『オプションガイド』に従って搭載してください。

※ PRIMERGY RX300 S7（3.5 インチモデル）で本製品をご使用になる場合は、本書の
「6. PRIMERGY RX300 S7（3.5 インチモデル）で本製品をご使用になる場合」も合わせてお読み
くださるようお願いいたします。

3 データカートリッジについて

➢ ご利用できるカートリッジについて

本製品でご利用できるカートリッジは、下表を参照ください。

記憶容量	品名	購入単位	商品番号 製品型名	購入先
40GB	データカートリッジ RD 40GB	1 巻	0162110	富士通コワーコ株式会社
80GB	データカートリッジ RD 80GB	1 巻	0162120	富士通コワーコ株式会社
120G	データカートリッジ RD 120GB	1 巻	0162130	富士通コワーコ株式会社
160GB	データカートリッジ RD 160GB	1 巻	0162140	富士通コワーコ株式会社
	データカートリッジ RDX 160GB	1 巻	0162141	富士通コワーコ株式会社
	データカートリッジ RDX 160GB	1 巻	PG-RDC16	富士通株式会社
	データカートリッジ RDX 160GB	1 巻	PY-RDC16	富士通株式会社
320GB	データカートリッジ RD 320GB	1 巻	0162150	富士通コワーコ株式会社
	データカートリッジ RDX 320GB	1 巻	0162151	富士通コワーコ株式会社
	データカートリッジ RDX 320GB	1 巻	PG-RDC32	富士通株式会社
	データカートリッジ RDX 320GB	1 巻	PY-RDC32	富士通株式会社
	データカートリッジ RDX 320GB	1 巻	PY-RDC32A	富士通株式会社
500GB	データカートリッジ RD 500GB	1 巻	0162160	富士通コワーコ株式会社
	データカートリッジ RDX 500GB	1 巻	0162161	富士通コワーコ株式会社
	データカートリッジ RDX 500GB	1 巻	PG-RDC50	富士通株式会社
	データカートリッジ RDX 500GB	1 巻	PY-RDC50	富士通株式会社
	データカートリッジ RDX 500GB	1 巻	PY-RDC50A	富士通株式会社
1TB	データカートリッジ RDX 1TB	1 巻	0162170	富士通コワーコ株式会社
	データカートリッジ RDX 1TB	1 巻	PG-RDC100	富士通株式会社
	データカートリッジ RDX 1TB	1 巻	PY-RDC1T	富士通株式会社
	データカートリッジ RDX 1TB	1 巻	PY-RDC1TA	富士通株式会社
2TB	データカートリッジ RDX 2TB	1 巻	0162180	富士通コワーコ株式会社
	データカートリッジ RDX 2TB	1 巻	PY-RDC2TA	富士通株式会社
3TB	データカートリッジ RDX 3TB	1 巻	0162190	富士通コワーコ株式会社
	データカートリッジ RDX 3TB	1 巻	PY-RDC3TA	富士通株式会社

注：容量は、1GB=1000 × 1000 × 1000 byte 、1TB=1000 × 1000 × 1000 × 1000 byte 換算です。

Copyright 2016-2019 FUJITSU LIMITED

FUJITSU

➢ ご購入できるカートリッジについて

・弊社販売品
弊社 Web サイト（http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/system/）のシステム構成図を
ご確認ください。

・富士通コワーコ販売品
富士通コワーコ Webサイト（http://www.fujitsu.com/jp/group/coworco/）のサプライ用品のページ
の「データカートリッジ RDX」をご確認ください。

4 OS/バックアップソフトウェアについて

本装置をサポートするバックアップソフトウェアに関する情報は、以下を参照ください。

・Arcserve Backup をご利用になる場合
http://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/arcserve/

・NetVault Backup をご利用になる場合
http://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/netvault/

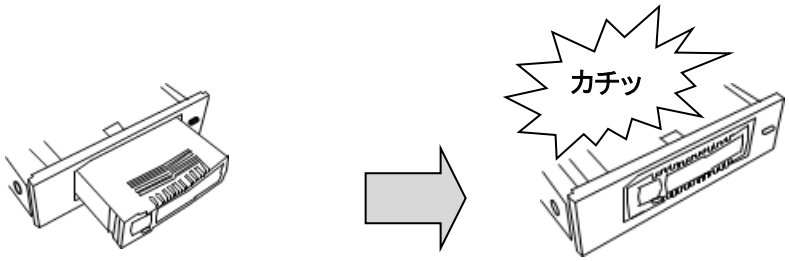
・Backup Exec をご利用になる場合
http://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/veritas/products/bews/technical/

※ OS / バックアップソフトウェアの機能を利用して、本装置のブロックサイズを変更する場合は、
ブロックサイズを 32KB 以上に設定してください。

5 注意事項について

➢ データカートリッジ RDX の装着方法

本装置へのデータカートリッジ RDX の装着が不完全な場合、「カートリッジが認識されない」、
「データの読み／書き込みに失敗する」等の不具合を引き起こすことがあります。
本製品の取扱説明書の「3.4.1 カートリッジの装着方法」に記載しております通り、本装置にデータ
カートリッジを装着する際は、『カチッ』と音がする所定の位置に固定されるまで、カートリッジを
ゆっくり押し込んで下さい。



カートリッジの装着途中　　カートリッジの装着完了

➢ データカートリッジ RDX のフォーマット形式について

ご購入の際の初期フォーマットは NTFS 形式です。
また、Linux 環境では、「Ext2」「Ext3」「XFS」フォーマットへ変更しご使用いただけます。

➢ データカートリッジ RDX のパーティションについて

データカートリッジへパーティション操作コマンド(parted など)を利用してパーティションを
作成／分割することはできません。

➢ 本製品からのシステムブートについて

本製品からのシステムブートはサポートしておりません。

Copyright 2016-2019　FUJITSU LIMITED

FUJITSU

➢ ServerView について

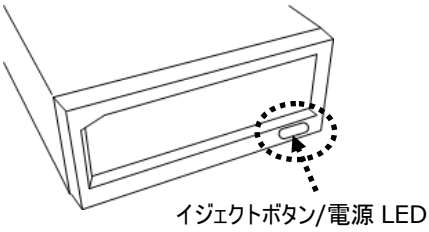
本製品は、ServerView でサポートされておりません。

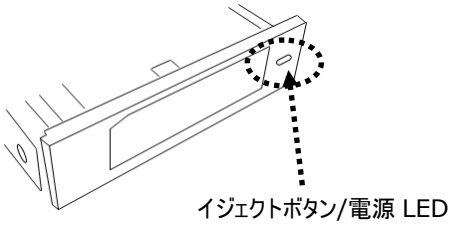
➢ イジェクトボタン/電源 LED の表示について

データカートリッジ RDX がセットされていない場合、『イジェクトボタン/電源 LED』は、通常緑点灯表示ですが、データカートリッジ RDX がセットされていない状態で、イジェクトボタンを 5/秒以上長押しした場合に、**『緑点灯⇒消灯⇒オレンジ点灯』を繰り返す状態表示**となる場合があります。
尚、**この状態表示となった場合も本製品は問題なくご使用になれます。**

（補足）本 LED 状態は、以下のいずれかの方法で元の LED 表示（緑点灯）に戻す事が可能です。

1) イジェクトボタン/電源 LED を操作せず、60 秒以上放置する。
2) データカートリッジ RDX を本装置にセットする。
3) サーバ本体の電源をオフ／オンする。





➢ PRIMERGY TX120 S3 で本装置をご使用になる場合の注意事項

ソフトウェア上から媒体排出の操作を行う場合は、必ずサーバ本体のドライブカバーを外してから実施してください。

ドライブカバーを閉めた状態でソフトウェア上から媒体排出操作を行った場合、ドライブカバーと媒体が接触し、ドライブカバーが浮く(外れる)場合があります。

➢ Windows 環境でのデータカートリッジの取り出しやフォーマットについて

Windows OS 環境でご使用の場合、Windows からのデータカートリッジ RDX の取り出しやフォーマットを行うには、Administrator 権限が必要となります。

➢ Windows Server 2016 でご使用になる場合の注意事項

Windows Server 2016 環境の場合、Windows Defender がインストールされ機能が有効になっています。(注)

(注) Server Core インストールオプションを使用した Windows Server 2012R2 環境の場合も Windows Defender がインストールされ機能が有効になっています。
尚、フルインストールオプションを利用した Windows Server 2012R2 環境の場合は Windows Defender はインストールされません。

このような環境で RDX Utility をインストールし，本製品を出荷初期設定(Removable Disk モード)で使用すると RDX カートリッジのアクセス LED が常時点滅状態になります。

このため、本環境下で本製品をご使用になる場合は、Windows Defender の設定で「RDXmon.exe」をプロセスの除外に追加してください。

Windows Server 2016 での設定方法の一例

Windows のスタートメニューの「設定」より「更新とセキュリティ」の「Windows Defender」を選択。
「除外」の「除外を追加する」をクリックし、「プロセス」メニューの「＋」をクリック。
「除外の追加」ウィンドウに「RDXmon.exe」と入力し「OK」ボタンをクリック。

Copyright 2016-2019　FUJITSU LIMITED

FUJITSU

➢ Windows 環境でご使用になる場合の「取り外しポリシー」設定について

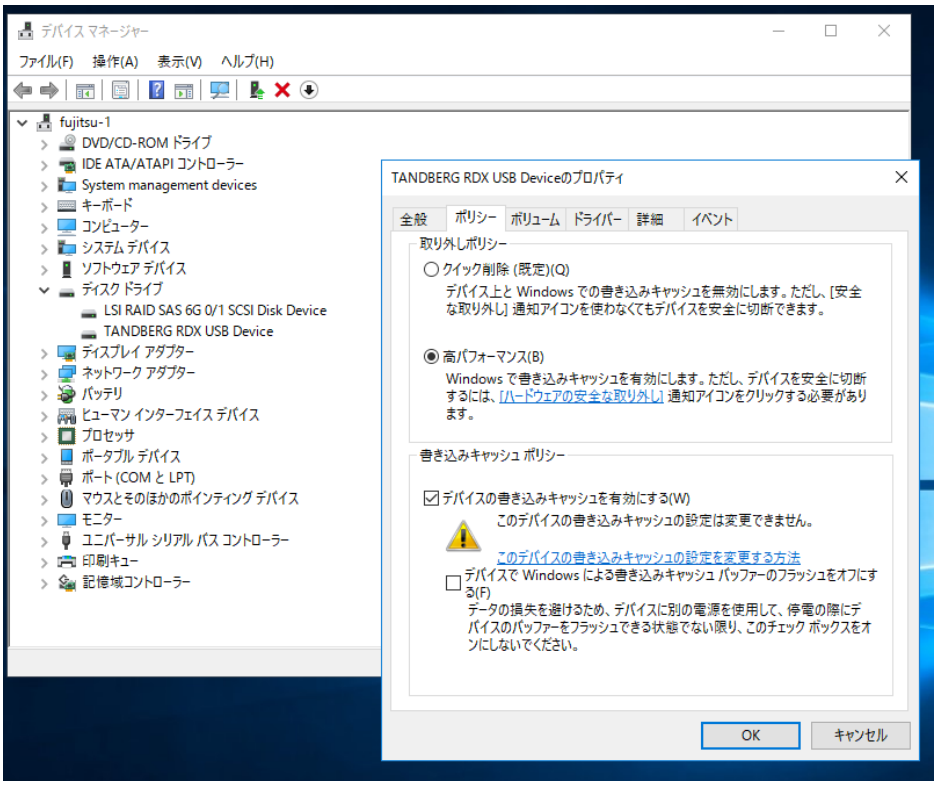
■ 対象装置版数(CBL): 3035-0009/3035-1009/3034-0009/3034-1009 以降

Windows OS の「取り外しポリシー」設定は、OS の種類によってはデフォルト値が「クイック削除」になっています。

上記対象装置において、「取り外しポリシー」設定を「クイック削除」で使用すると、パフォーマンスが低下する場合が有ります。
そのような場合は、「取り外しポリシー」を「高パフォーマンス」に設定してください。

Windows OS での「取り外しポリシー」の表示および設定方法（Windows Server 2016 の例）

1) Windows のデバイスマネージャーを開きます。
2) [ディスクドライブ]の下にある RDX USB Device を右クリックし、プロパティを表示します。
3) [ポリシー]タブをクリックします。
4)「取り外しポリシー」設定で「高パフォーマンス」を選択します。



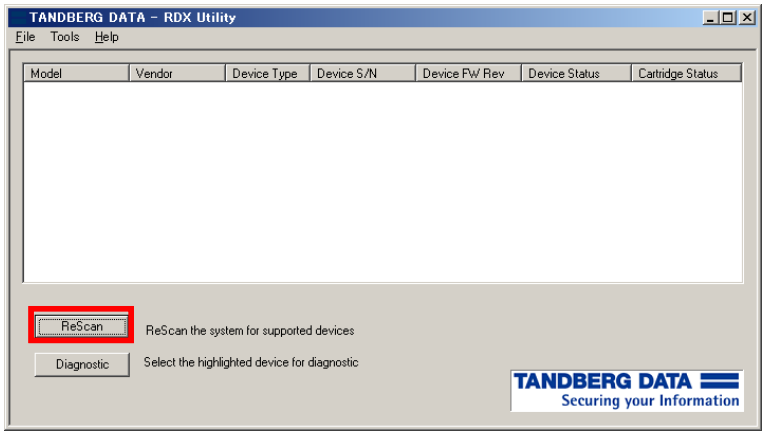
Copyright 2016-2019 FUJITSU LIMITED

FUJITSU

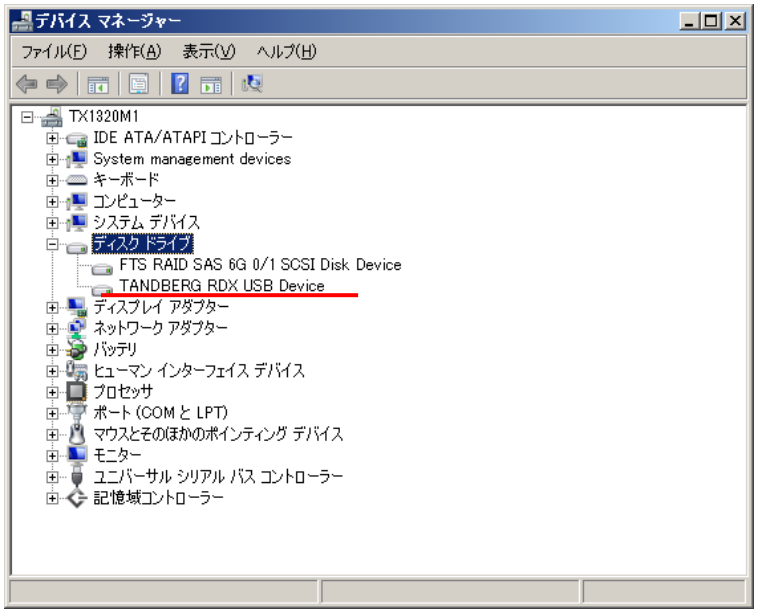
➢ RDX Utility をご使用になる場合の留意事項

RDX Utility を起動時に内蔵データカートリッジドライブユニットが見えない場合、以下 1 または 2 のいずれかを実行してください。

1. [ReScan]ボタンを押下し、検索を行ってください。



2. サーバを停止後、内蔵データカートリッジドライブユニットが正常に接続されていることを確認し、デバイスマネージャより、[ディスクドライブ]配下に”TANDBERG RDX USB Device”が動作していることを確認してください。



Copyright 2016-2019 FUJITSU LIMITED

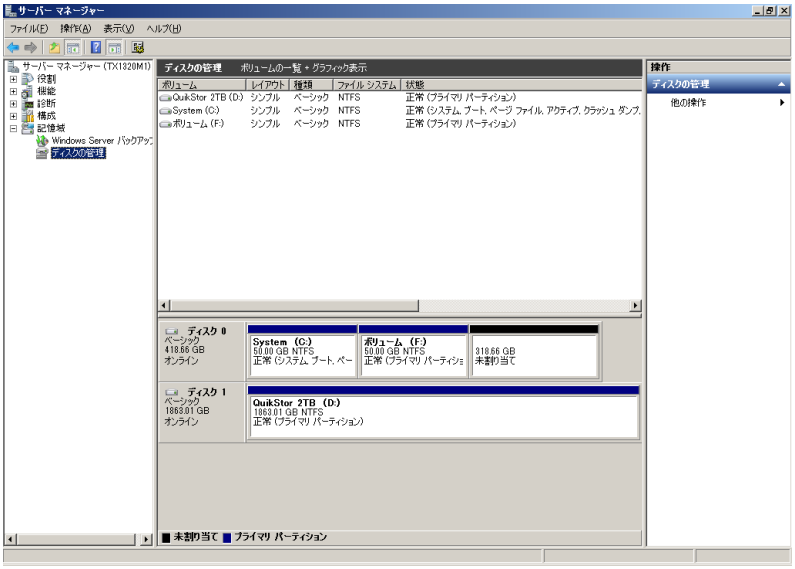
FUJITSU

➢ デバイスモードが“Fixed Disk”の場合の留意事項

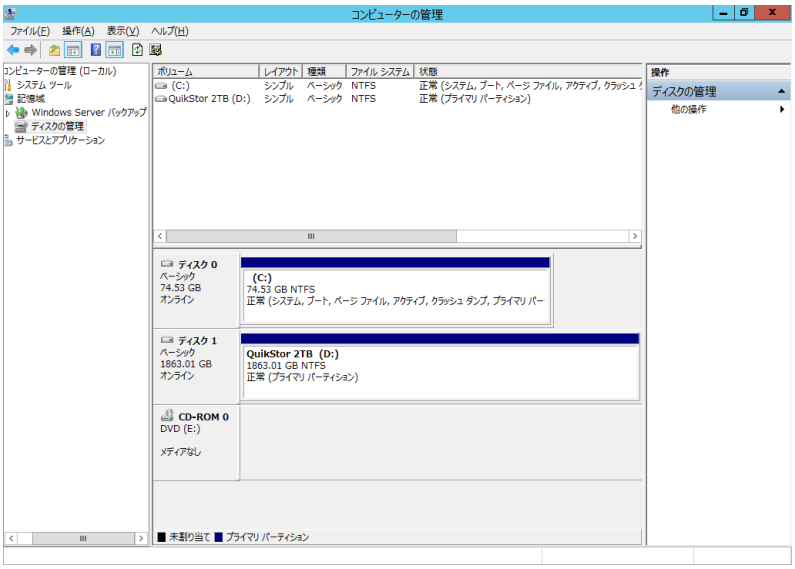
内蔵データカートリッジドライブユニットのデバイスモードを“Fixed Disk”に変更(注)してご使用時に、カートリッジ挿入後、カートリッジが認識されない場合は、以下を実行してください。

◆ サーバーマネージャーより「ディスクの管理」を開き、カートリッジの状態を確認してください。

A) Windows Server 2008 / Windows Server 2008R2 の場合
［サーバーマネージャー］-［記憶域］-［ディスクの管理］



B) Windows Server 2012 / Windows Server 2012R2 の場合
［サーバーマネージャー］-［コンピュータの管理］-［記憶域］-［ディスクの管理］



(注) デバイスモードは RDX Utility にて変更可能です。デバイスモードの変更は内蔵データカートリッジドライブユニットのファームウェア「0205」版以降で可能になります。

(注) ご使用になるサーバ機種によって、OS 上でカートリッジ排出操作を行ってもカートリッジが排出されない場合があります。 このような場合は本装置のイジェクトボタンを使用してカートリッジを排出させてください。

Copyright 2016-2019 FUJITSU LIMITED

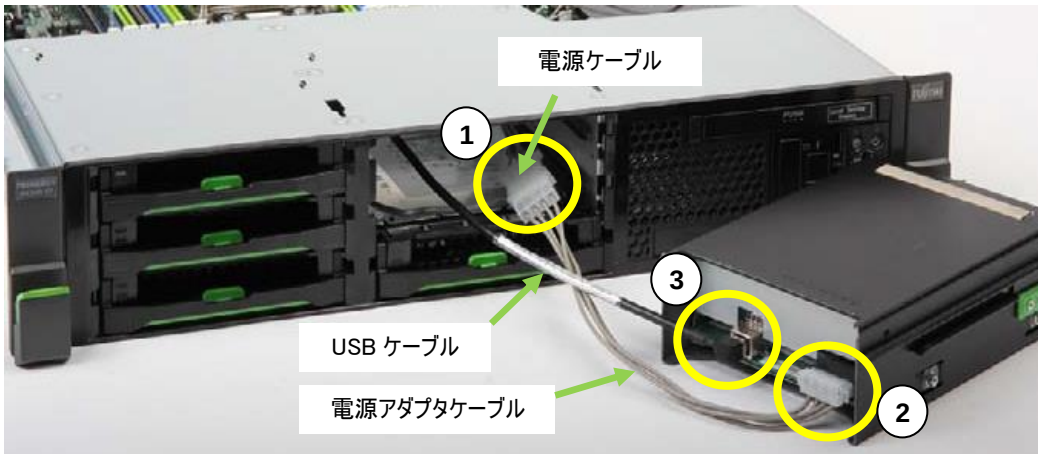
FUJITSU

6 PRIMERGY RX300 S7 (3.5インチモデル)で本製品をご使用になる場合

6.1 本製品の取り付け

(1) 3.5 インチ HDD または 3.5 インチ HDD ダミーを取り外します。

(2) 電源アダプタケーブルと USB ケーブルを以下のように接続します。



・電源ケーブルと USB ケーブルをベイを通して配線します。
・電源アダプタケーブルを電源ケーブルへ接続します。 ①
・電源アダプタケーブルを本装置に接続します。 ②
・USB ケーブルを本装置に接続します。 ③

(3) 本装置をベイに挿入します。

Copyright 2016-2019 FUJITSU LIMITED

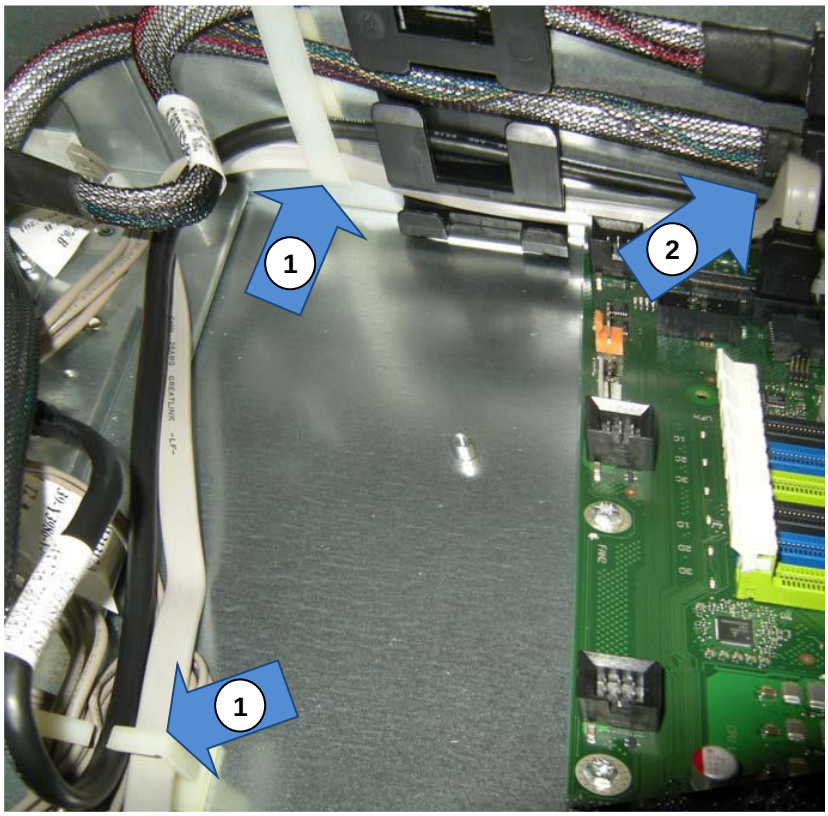
FUJITSU

6.2 本製品の接続

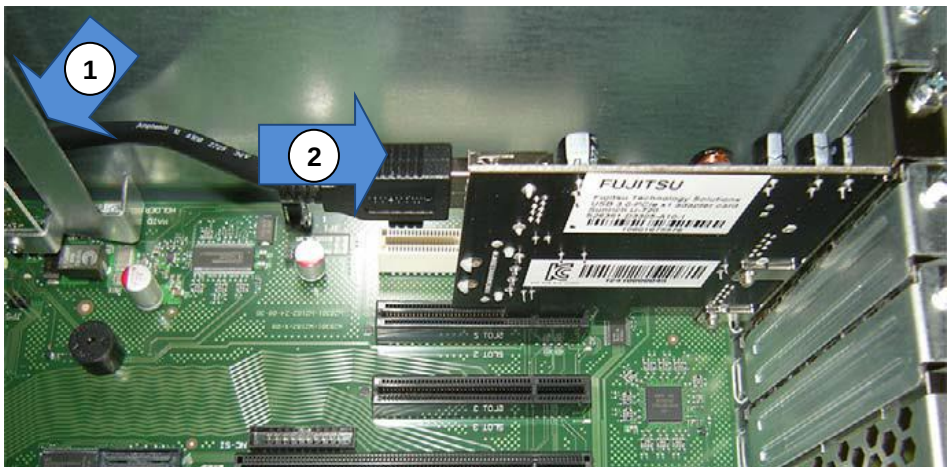
ご使用になる構成によって接続方法に異なります。

- **USB3.0 接続の場合（増設用 USB3.0 用ポートをご使用になる場合）**

(1) 2 つのケーブルクランプ（①）を使用し、RAID カードの裏側（②）に USB ケーブルを配線します。



(2) ①のように USB ケーブル配線し、増設用 USB3.0 ポートに接続（②）します。



Copyright 2016-2019 FUJITSU LIMITED

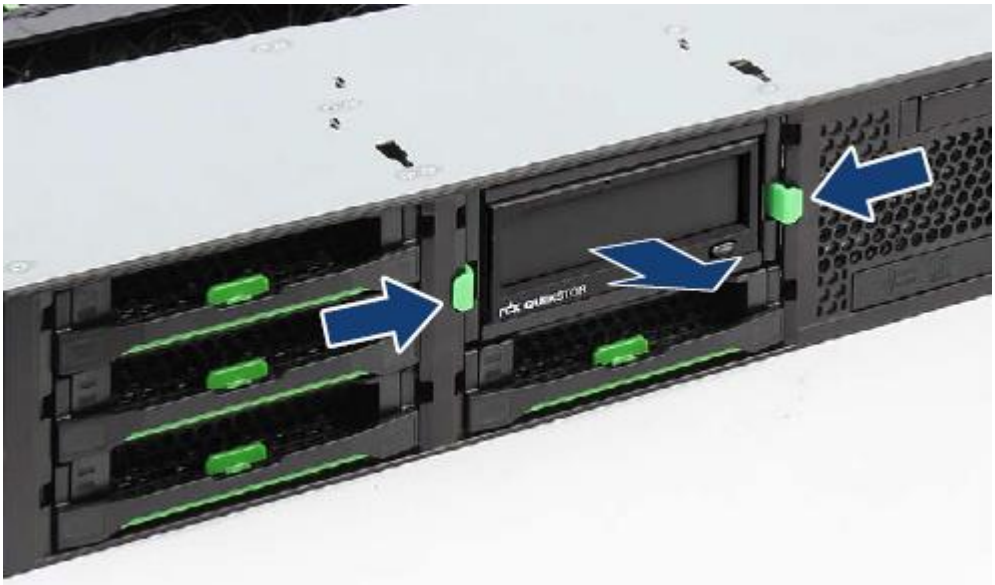
FUJITSU

➢ **USB2.0 接続の場合（マザーボードの USB2.0 用ポートをご使用になる場合）**

(1) USB ケーブルを、システムボードのコネクタ USB INT1 に接続します。
図のように、ケーブルを配線します。

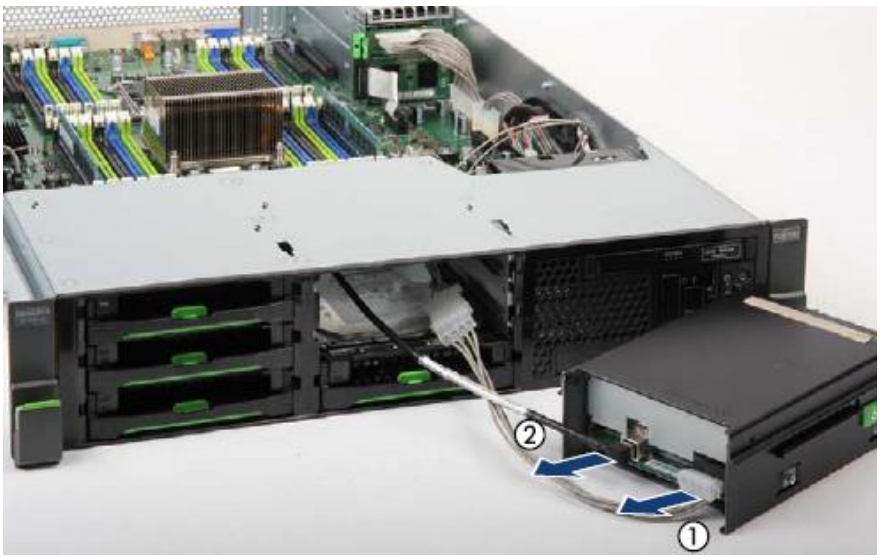
6.3 本製品の取り外し

(1) 2 つのロキングラッチを同時に押して、本製品（ドライブケージ）をベイから引き出します。



Copyright 2016-2019 FUJITSU LIMITED

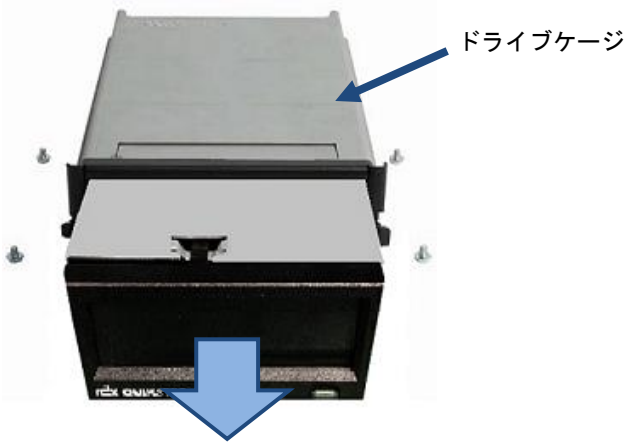
(2) 電源アダプタケーブル(①) と USB ケーブル(②) を本製品から取り外します。



6.4 本製品の交換

(1) 本製品の両側にあるネジ(片側 2 カ所，計 4 カ所)を取り外します。

(2) ドライブをドライブケージから引き出します。



(3) 新しいドライブをドライブケージに挿入し、ネジ(計 4 カ所)を取り付けます。

Copyright 2016-2019 FUJITSU LIMITED